

月山城よりしり猪川を渡すのちに并進し酒
田の城を攻め川村を獲ひ多武峯を
ハ城を堅固にせり上川をおよぶて防
ぐ美光の先手下治を走つ川原十に五艘を
遣はして云を渡し戦はれハ城を堀の上
より伏し砲をつりおとすに敵も
先手少しむりこり大蔵少浦川よるを
突入て折渡を見て城を突く一少し川を
越えぬを懸れば城をこりしり城は
城中へ引入りりと互に後年ハ城をさし
て落ちりりしに追手の為し途中より自害
しあふとを美光捕縛を見りしに里見城後
は素直に秀頼公より一味の思召をいふ
やば事取れりしにありてあふと見し
己亥長十八年美光卒去の後

一白糸灘

徳明神の下川原にあり小瀬よりて飽海
郡市田の灘の形は所々に古跡に

上川灘くの岩なることをいふ

よしてそとより白糸は灘